

ディーラーの独り言（2018 年 1 月 23 日）

◆本日の予想レンジ

ドル円 110.50～111.80

昨日のマーケットは予想された通り米暫定予算の動向に一喜一憂する展開となった。東京時間から欧州時間までのドル円は110円台後半で推移し、111円台を手前に上値を抑えられたが、ニューヨーク市場では米上院で移民問題を一時棚上げしたことで、2/8までのつなぎ予算案採決の動議を可決。政府機関閉鎖解除が早まるとの期待から111円22銭まで上昇、111円には達しないだろうと見ていただけに110円台後半で仕込んだショートポジションは111円台に乗せたところで損切ることになった。それでも相変わらず111円台の上値は重く、先週18日の111円48銭を超えるまでの勢いもないことからニューヨーク市場は111円00銭を割り込んで終わった。暫定予算の動向にマーケットは流動的なところはあるが、やはり上値は重たいようだ。ただ、その重たさも今日の日銀政策会合の結果を待っているところもあるのだろう。今月9日の日銀による国債買い入れオペ減額が目先の円買い要因となっただけに、海外勢も今回の日銀政策会合には注目しているようだ。会合後の黒田総裁会見に注目が集まるが、ただでさえ1月に入ってから円買いの流れが強まっているだけに、黒田総裁も円買いにつながるような発言をすることは考えづらいだろう。政策姿勢の不変を強調する内容となる可能性が高いだけに、一旦ドル売り・円買いの流れは終了と考え、110円80銭割れで買い、111円50-70銭から上値までの反発を期待、何とか昨晚の挽回をしていきたい。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。